

事業群評価調書(令和6年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	県生活環境部 自然環境課	田中 順子
施策名	4 しまや半島など地域活性化の推進	事業群関係課(室)		
事業群名	⑤ 地域振興のための自然資源の活用	令和5年度事業費(千円)	※下記「2. 令和5年度取組実績」の事業費(R5実績)の合計額 42,502	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)							
人々の価値観の変化やニーズの多様化が進む中、国立公園やジオパーク等の地域の豊かな自然をより深く理解・体験し楽しむことを通じて、少しでも長く滞在し何度も訪れたくなるような滞在環境の魅力が向上する取組を推進します。		i) 自然公園等におけるインバウンド受入環境整備の推進 ii) 国立公園雲仙の滞在環境上質化 iii) 国立公園とジオパーク等の連携							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 雲仙の滞在環境の魅力を向上させるため歩道等の再整備を実施する予定だったが、令和3年8月の豪雨により被災した雲仙温泉地区の復興対策に注力する必要が生じたため、令和4年度までに1箇所整備することとまった。そのため、令和5年度に指標の見直しを行い、達成時期を後ろ倒しすることとした。
	自然資源を活用した利用環境整備箇所数(累計)	目標値①	2箇所	4箇所	1箇所	1箇所	3箇所	3箇所(R7)	
	実績値②	—	0箇所	1箇所	1箇所			進捗状況	
		達成率②/①	0%	25%	100%			順調	

2. 令和5年度取組実績(令和6年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和5年度事業の成果等		
				R4実績	R5実績	R6計画		うち一般財源	人件費(参考)	主な指標		R4目標	R4実績
○ 1			国立公園雲仙八万地獄復興対策事業	47,115	2,558	12,245	●事業内容 令和3年8月の豪雨により被災した国立公園雲仙八万地獄の復旧・再生を図るため、斜面の安定化対策工事等を実施。 ●実施状況 工事実施のための調査・測量及び実施設計業務を、また工事を円滑に施工するための仮設道路工事を実施した。	【活動指標】 測量調査・実施設計業務及び工場の発注	発注	発注	100%	●事業の成果 ・本体工事の上段部を発注し、復興への取組を着実に進めることができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・対策工事が着実に進んでいることを地元に対し丁寧に説明し、今後のスケジュールを共有することにより、対策工事完了後の速やかな利用環境整備の検討に寄与することができた。	
				42,502	1,351	14,552			発注	発注	100%		
				701,534	1,868	9,337			発注				
			R4-7	自然公園法					【成果指標】	—	—		—
			自然環境課	—	—	○	国立公園雲仙の優れた自然を享受する公園利用者及び地域住民	対策工事の完了	—				
○ 2			雲仙ネクスト100年上質化事業				●事業内容 島原半島全体の持続的な地域振興のため、国立公園雲仙の利用拠点である雲仙温泉地域の滞在環境の上質化及び周辺資源の活用を推進。	【活動指標】 コンテンツと連携した歩道等の再整備箇所数(箇所)(累計)				—	
				18,950	9,475	7,781			1				
			(R6新規)R6-10	自然公園法						【成果指標】 雲仙天草国立公園(雲仙地域)の利用者数(千人)			
				自然環境課	—	—		○	国立公園雲仙の優れた自然を享受する公園利用者及び地域住民	2,178			

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	自然公園等におけるインバウンド受入環境整備の推進	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>ポストコロナを見込んだ受入環境の整備が必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>県が実施する安全対策工事により利用者の安全を確保し、関係機関が連携して受入環境の整備に取り組んでいく。</p>
ii	国立公園雲仙の滞在環境上質化	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>国立公園雲仙の利用拠点である八万地獄が豪雨により被災したため、利用者の安全を確保する対策工事を進めている。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>県が実施する安全対策工事により利用者の安全を確保し、関係機関が連携して滞在環境の上質化に取り組んでいく。</p>
iii	国立公園とジオパーク等の連携	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>地域が進めるジオパークを活用したコンテンツと連動した受入環境整備を進めていく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>ワーキング会議等により地元のニーズを把握し、受入環境の整備を図っていく。</p>

4. 令和6年度見直し内容及び令和7年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和6年度事業の実施にあたり見直した内容		令和7年度事業の実施に向けた方向性			
			事務事業名 事業期間 所管課(室)名	※令和6年度の新たな取組は「R6新規」等と、見直しが無い場合は「―」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分	
取組項目 i ii iii	○	1	国立公園雲仙八万地獄復興対策事業	—	—	—	利用者の安全を確保し、雲仙の復興を図るため本事業を推進する。	現状維持
			R4-7					
			自然環境課					
取組項目 i ii iii	○	2	雲仙ネクスト100年上質化事業	R6新規	⑤	雲仙市観光戦略に位置づけられた受入環境(県有施設)の整備について、R6に実施する民間活力導入の検討を踏まえ、更なる魅力向上に取り組んでいく。	拡充	
			(R6新規)R6-10					
			自然環境課					

注:「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要があるか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点